

学校教育目標	「自ら学び 社会とつながり とともに未来を創る人」			
	ヒ 一人ひとりの個性を伸ばします (徳) ガ 学習の基礎基本の定着を図ります (知) カ 課題を解決する力を向上させます (知) モ モチベーション(意欲)をもって創造していく力を向上させます (体) ト 共に生きる心とコミュニケーションの力を向上させます (公・開)			
学校概要	創立 35 周年	学校長 塩原 祥光	副校長 中野 直茂	2 学期制 一般学級: 13 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 489 人	主な関係校: 鴨居小学校・東本郷小学校・菅田の丘小学校・緑小学校・竹山小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	東鴨居中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<心身ともにたくましく生きる力> <問題発見・解決能力> <言語能力> <自分づくりに関する力>	東鴨居中学校 鴨居小学校 東本郷小学校	○仲間や地域とのかかわりの中で、共に学び続ける子ども ○豊かな感性を磨き、社会の一員として自覚を持ち、自立して生きていく子ども ○学力向上、豊かな心、健やかな体に沿って授業研究や研修を行い、地域の特性を意識した9年間の生徒理解につなげていく。 ○授業参観、部活動体験、文化祭、ボランティア活動などを通じて小学校児童との交流を深め、中学校生活に円滑な移行ができるようにする。 ○自尊感情を育て、社会の一員としての自覚を持つ活動の連携を図る。

中期取組目標	小中・家庭・地域と連携し、生徒と教職員が力を合わせて、「当たり前のことを当たり前に行える学校」を目指します。 ○確かな学力を身に付け、夢、希望、目標をもち、自立して生きていく生徒を育てます。(知)→自分を律し、高め合える生徒 ○人を思いやる優しさや豊かな感性を磨ける活動に取り組みます。(徳)→相手の思いを受け止め、仲間や学校の伝統を大切にできる生徒 ○一人ひとりの個性を大切に、心と体の健康を意識し生き生きと生活する生徒を育てます。(体)→自尊感情をもった生徒 ○人とのコミュニケーションを通して、グローバルな視点をもった地域社会に貢献できる生徒を育てます。(公・開)→あいさつができる生徒
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	生徒の「じっくり考え 高め合い 次につなげる確かな学び」を実現するために、学力向上アクションプランに基づいて、授業改善を行う。 横浜市学力・学習状況調査、全国学力学習状況調査の結果を積極的に公表、活用する。 ①学習したことを、日常の生活や社会に出て役立てようと考えられるようにする。(東鴨居85.5%/全国86.7%) ②自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表できるようにする。(東鴨居51.1%/全国62.0%) ③生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにする。(東鴨居70%/横浜77%)
徳	豊かな心	「学び合い」を通して、自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を育む。 横浜市学力・学習状況調査、全国学力学習状況調査の結果を積極的に公表、活用する。 ①人が困っているときは、進んで助けることができるようにする。(東鴨居83.5%/全国88.5%)②自分と違う意見について考えることは楽しいと感じられるようにする。(東鴨居68.3%/全国74.7%) ③自分以外の人のためになることをしたいと思うことの大切さを理解できるようにする。(東鴨居57%/横浜60%)
体	健やかな体	「横浜市「健やかな体」育成プログラム」に沿って、家庭と協力しながら体力向上を目指す。 「健やかな体の育成プラン」の推進。学校保健委員会の活動の活性化。体力・運動能力調査の結果を積極的に公表、活用する。①健康三原則「運動:週に420分以上」(東鴨居男子84.1%/全国79.1%、東鴨居女子52.2%/全国58.4%)、「食事:毎日朝食、決まった時間に夕食」(東鴨居男子78.6%/全国80.6%、東鴨居女子88.4%/全国75.5%)、「睡眠:睡眠時間8時間以上」(東鴨居男子34.3%/全国29.8%、東鴨居女子31.9%/全国20.5%)を徹底することの大切さを理解できるようにする。②保健体育科の授業で目標を示す、学んだ内容を振り返る活動を行う。③テレビ、スマートフォン、パソコン等による映像の視聴時間が及ぼす害について理解できるようにする。
公開	地域連携・学校運営協議会	保護者・地域のサポートを生かし、開かれた学校づくりに努めるとともに、学校運営協議会の活性化を図る。 ①地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター)が運営するヒガカモの会を中心に、学習ボランティアを募り、放課後の学習支援事業を充実する。 ②地域行事等に生徒が積極的に参加するよう促し、地域と連携し主体的に活動する生徒を育成する。 ③学校HPを毎週更新し、家の人が生徒と学校での出来事について話す話題を提供する。
	いじめへの対応	「学校いじめ防止基本方針」に沿って、いじめの未然防止、いじめの早期発見、いじめに対する措置、いじめの解消を行う。 ①YPアセスメントを年間2回実施し、集団の実態把握に努める。 ②「学校いじめ防止対策委員会」を常設し、月1回以上、定期的に開催する。 ③年間3回以上の生活アンケート及び教育相談を実施する。 ④いじめは、どんな理由があってもいけないということを理解できるようにする。(東鴨居79%/横浜80%)
	人材育成・組織運営(働き方)	教職員が、自らのキャリアについて将来展望をもち、身に付けるべき能力を自覚し、職務遂行等を通じて積極的に能力開発を行うとともに、組織的課題解決ができる人材の育成を行う。 ①「チームヒガカモ」を組織し、経験・教科・分掌等の垣根を超えた意見交換で、教職員のレベルアップを行う。②自己観察の自己目標設定面談や中間期の振り返り面談、観察指導記録開示面談等を通して、教職員一人ひとりがキャリアステージや将来のキャリア展望に向けて適切に目標を設定し、振り返りを行い、業務改善に取り組めるようにする。③教職員が、効率的に業務を遂行するために、問題解決手法についての研修を実施し、日々の業務に生かせるようにする。
	教育課程	教育活動のねらいを明確にし、ねらいを達成するためにPDCAサイクルをしっかりとスパイラルアップさせる。 ①小中一貫して「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、講師を招聘し、各教科・領域の小中合同授業研究会を実施する。 ②学校行事等において生徒アンケートを行い、ねらいの達成度や改善点等について振り返りを行い、より良い活動の実施に繋げる。 ③道徳の授業、戦争についての講話、人権講演会、修学旅行に向けた学習や長崎での学習等を通して、平和への理解を更に深め、自分たちの生活と結びつけて、平和の実現に向けて継続的に考えるようにする。
	特別支援教育	学び合うから一人ひとりの違いを認め合い、支え合う中で豊かな心を育て、様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会を築き、その社会で生きる子どもを育成する。 ①教職員グループウェアを活用し、情報交換、全体共有を行ない、個々の生徒に応じた支援を行う。②デキタスを活用し、生徒の実態に応じた学習サポートを行う。 ③個別の指導計画・支援計画、問題解決型ケース会議を活用し、生徒の学校での適応状況改善を行う。 ④生徒が学校は安心できる場所だと感じられるようにする。(東鴨居80%/横浜87%)⑤自分のことが好きだと感じられるようにする。(東鴨居60%/横浜65%)
	生徒指導	一人ひとりの生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動を行う。 横浜市学力・学習状況調査、全国学力学習状況調査の結果を積極的に公表、活用する。 ①自分にはよいところがあると感じられるようにする。(東鴨居67%/横浜75%)②挨拶を自分からすることの大切さを理解できるようにする。(東鴨居89%/横浜90%) ③人とコミュニケーションをとることが楽しく感じられるようにする。(東鴨居86%/横浜88%)④学校生活で身近に解決すべき課題があれば、それをみんなと一緒に解決できると感じられるようにする。(東鴨居84%/横浜84%)④始めたことは、何でも最後までやり遂げることの大切さを理解できるようにする。(東鴨居68%/横浜74%)
	進路指導	生徒が自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもち、自分の意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身に付けることができるよう、教育活動全体を通じ指導・援助する。 横浜市学力・学習状況調査、全国学力学習状況調査の結果を積極的に公表、活用する。 ①将来の夢や目標をもてるようにする。(東鴨居65.5%/全国68.6%)②地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができるようにする。(東鴨居33.8%/全国43.8%) ③「横浜の時間」で主体的に学べるように工夫する。(東鴨居81%/横浜73%)④人の役に立つ人間になりたいと感じられるようにする。(東鴨居93.8%/全国95.0%)